

A-P

09/744057

EAKU

日本国特許庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

PCT/JP99/03827

5.07.99	
REC'D	SEP 1999
WIPO	PCT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application:

1998年 7月17日

出願番号
Application Number:

平成10年特許願第204106号

出願人
Applicant(s):

株式会社バンダイ



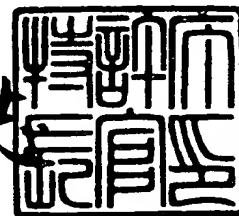
**PRIORITY
DOCUMENT**

SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

1999年 8月19日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

伴佐山 建志



出証番号 出証特平11-3057971

【書類名】 特許願

【整理番号】 P10-030

【提出日】 平成10年 7月17日

【あて先】 特許庁長官 伊佐山 建志 殿

【国際特許分類】 H04Q 7/00

【発明の名称】 電子機器装置

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 東京都台東区駒形2丁目5番4号 株式会社バンダイ内

【氏名】 水上 龍彦

【発明者】

【住所又は居所】 東京都台東区駒形2丁目5番4号 株式会社バンダイ内

【氏名】 芳賀 義典

【発明者】

【住所又は居所】 東京都台東区駒形2丁目5番4号 株式会社バンダイ内

【氏名】 志水 毅

【特許出願人】

【識別番号】 000135748

【住所又は居所】 東京都台東区駒形2丁目5番4号

【氏名又は名称】 株式会社バンダイ

【代理人】

【識別番号】 100081363

【住所又は居所】 東京都台東区駒形2丁目7番5号 前川ビル7階 高田
国際特許事務所

【弁理士】

【氏名又は名称】 高田 修治

【電話番号】 03-3847-5141

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 054173

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電子機器装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 下記の要件を備えてなることを特徴とする電子機器装置。

(イ) 基地局からのメッセージを受信する第 1 の電子機器装置本体を有すること

(ロ) 前記第 1 の電子機器装置本体を着脱自在に装着する第 2 の電子機器装置本体を有すること。

(ハ) 前記第 1 の電子機器装置本体は、前記メッセージを受信した時に、第 1 の態様で報知する第 1 の報知手段を有すること。

(ニ) 前記第 1 の電子機器装置本体は、前記受信したメッセージを第 2 の電子機器装置本体へ転送する転送手段を有すること。

(ホ) 前記第 2 の電子機器装置本体は、前記転送されたメッセージを受信する受信手段を有すること。

(ヘ) 前記第 2 の電子機器装置本体は、前記メッセージを受信した時に、第 1 の態様とは異なる第 2 の態様で報知する第 2 の報知手段を有すること。

【請求項 2】 下記の要件を備えてなることを特徴とする請求項 1 に記載の電子機器装置。

(イ) 前記第 2 の電子機器装置本体は、ゲームに係るプログラムを記憶した記憶手段を有すること。

(ロ) 前記第 2 の電子機器装置本体は、ゲームに係る命令を入力する入力手段を有すること。

(ハ) 前記第 2 の電子機器装置本体は、入力手段から入力された命令に従って該当するプログラムを記憶手段から読み取る読取手段を有すること。

(ニ) 前記第 2 の電子機器装置本体は、前記読み取られたプログラムに従ってゲームを実行する実行手段を有すること。

【請求項 3】 下記の要件を備えてなることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の電子機器装置。

(イ) 前記第 1 の報知手段は、少なくとも、受信したメッセージを文字表示する

第 1 の表示手段を有すること。

【請求項 4】 下記の要件を備えてなることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の電子機器装置。

(イ) 前記第 2 の報知手段は、メッセージを受信したことを動作により報知する動作報知手段を有すること。

【請求項 5】 下記の要件を備えてなることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載の電子機器装置。

(イ) 前記第 2 の報知手段は、メッセージを受信したことを音声により報知する音声報知手段を有すること。

(ロ) 前記第 2 の報知手段は、メッセージを受信したことを光により報知する光報知手段を有すること。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本願発明は、基地局からのメッセージを受信する電子機器装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

近年、基地局から送信された情報を受信して表示することのできる電子機器装置として、いわゆるポケットベルが市場に出回っている。

親が子供にポケットベルを携帯させておくと、必要な時に親からのメッセージを外出中の子供に対して低コストで、確実且つ容易に伝達することができるので、広く普及している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、従来のポケットベルは、基地局から送信された情報を受信して単に表示するだけであり、子供が成長するに応じて飽きられてしまうという問題点を有していた。

また、低年齢の児童に対しては、更に興趣性の高い電子機器装置を提供するこ

とが望まれていた。

【0004】

本願発明は、上記に鑑みて案出されたもので、基地局から送信された情報を受信して単に表示するだけにとどまらず、他の機能を附加することにより、低年齢の児童に対しては、更に興趣性の高い電子機器装置を提供し、また、子供が成長するに応じて、より高い機能を附加することのできる電子機器装置を実現することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明が提供する請求項1に係る電子機器装置は、上記目的を達成するために、下記の要件を備えたことを特徴とする。すなわち、

(イ) 基地局からのメッセージを受信する第1の電子機器装置本体を有すること

(ロ) 前記第1の電子機器装置本体を着脱自在に装着する第2の電子機器装置本体を有すること。

(ハ) 前記第1の電子機器装置本体は、前記メッセージを受信した時に、第1の態様で報知する第1の報知手段を有すること。

(ニ) 前記第1の電子機器装置本体は、前記受信したメッセージを第2の電子機器装置本体へ転送する転送手段を有すること。

(ホ) 前記第2の電子機器装置本体は、前記転送されたメッセージを受信する受信手段を有すること。

(ヘ) 前記第2の電子機器装置本体は、前記メッセージを受信した時に、第1の態様とは異なる第2の態様で報知する第2の報知手段を有すること。

【0006】

また、本発明が提供する請求項2に係る電子機器装置は、請求項1に下記の要件を付加したことを特徴とする。すなわち、

(イ) 前記第2の電子機器装置本体は、ゲームに係るプログラムを記憶した記憶手段を有すること。

(ロ) 前記第2の電子機器装置本体は、ゲームに係る命令を入力する入力手段を

有すること。

(ハ) 前記第 2 の電子機器装置本体は、入力手段から入力された命令に従って該当するプログラムを記憶手段から読み取る読取手段を有すること。

(ニ) 前記第 2 の電子機器装置本体は、前記読み取られたプログラムに従ってゲームを実行する実行手段を有すること。

【0007】

また、本発明が提供する請求項 3 に係る電子機器装置は、請求項 1 又は請求項 2 に下記の要件を付加したことを特徴とする。すなわち、

(イ) 前記第 1 の報知手段は、少なくとも、受信したメッセージを文字表示する第 1 の表示手段を有すること。

【0008】

また、本発明が提供する請求項 4 に係る発明は、請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の電子機器装置に下記の要件を付加したことを特徴とする。すなわち、

(イ) 前記第 2 の報知手段は、メッセージを受信したことを動作により報知する動作報知手段を有すること。

【0009】

また、本発明が提供する請求項 5 に係る発明は、請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載の電子機器装置に下記の要件を付加したことを特徴とする。すなわち、

(イ) 前記第 2 の報知手段は、メッセージを受信したことを音声により報知する音声報知手段を有すること。

(ロ) 前記第 2 の報知手段は、メッセージを受信したことを光により報知する光報知手段を有すること。

【0010】

【発明の実施の形態】

本願発明に係る電子機器装置の実施の形態を図面に基づいて説明する。

請求項 1 に係る電子機器装置は、ポケットベル部 1, 51 を有し、ポケットベル部 1, 51 は基地局からのメッセージを受信する第 1 の電子機器装置本体であ

る。また、ポケットベル部1, 51を着脱自在に装着するアダプター部21, 71を有する。このアダプター部21, 71は、前記第1の電子機器装置本体を着脱自在に装着する第2の電子機器装置本体である。アダプター部21, 71は、マスコットやキャラクターを模倣した形状、巾着、化粧箱等の適宜の形状に形成されている。そして、ポケットベル部1及び51は、アダプター部21又は71のいずれにも装着することができる。このとき、ポケットベル部1及び51は、アダプター部21又は71の内部に収納された状態で装着される。もちろん、ポケットベル部1及び51の一部をアダプター部21又は71の内部に収納した状態で装着するように構成しても良い。

【0011】

図1及び図2に示すように、ポケットベル部1は、アンテナ3と受信回路5を有し、基地局からのメッセージを受信する。受信回路5は、マイクロコンピュータ7と接続されている。マイクロコンピュータ7はメモリ7aを有し、メモリ7aはEEPROM、SRAM等の適宜の記憶手段によって構成され、自己のID情報及びアダプター部21, 71のID情報などが記録されている。また、メモリ7aには、各種コード情報と、それぞれのコード情報と対応するメッセージが記録されている。

マイクロコンピュータ7は、インターフェイス回路9と接続され、このインターフェイス回路9を介してアダプター部21と電氣的に接続される。また、マイクロコンピュータ7は、着信音発生回路11を介してスピーカ13と接続されると共に、液晶表示パターンメモリ15を介して液晶表示器17と接続されている。

ポケットベル部1は、基地局からのメッセージを受信した時に、第1の態様で報知する第1の報知手段を有する。この第1の報知手段として液晶表示器17が設けられ、メッセージの受信を文字表示によって報知する。また、マイクロコンピュータ7とインターフェイス回路9とで、受信したメッセージをアダプター部21へ転送するための転送手段を構成する。

【0012】

図1および図3に示すように、アダプター部21は、マイクロコンピュータ2

7を有する。マイクロコンピュータ27は、ROM27a、RAM27bを有する。ROM27aには、自己のID情報及びポケットベル部1、51のID情報などが記録されている。また、ROM27aには、各種コード情報と、それぞれのコード情報と対応するメッセージが記録されている。RAM27bは、ワーク用のメモリであり、各種データが一時的に記憶される。

マイクロコンピュータ27は、インターフェイス回路23と接続され、このインターフェイス回路23を介してポケットベル部1と電氣的に接続される。また、マイクロコンピュータ27は、入力回路25と接続されている。この入力回路25は、複数の押しボタンスイッチ、又は光センサーや磁気センサー等を有し、外部からの入力信号を取り込むことができる。

【0013】

また、マイクロコンピュータ27は、表示データ用ROM29、受信データ蓄積用メモリ31と接続されている。そして、マイクロコンピュータ27は、音声発生回路33を介してスピーカ35と接続されると共に、発光駆動回路37を介してLED、ランプ等で構成される光表示部39と接続されている。

また、マイクロコンピュータ27は、液晶駆動回路41を介して液晶表示器43と接続されると共に、モータ駆動回路45を介してモータ47と接続されている。このモータ47を駆動することにより、アダプター部21に設けた可動部（図示せず）が動作し、或いはアダプター部21の一部又は全部が変形するものである。もちろん、モータ駆動回路45及びモータ47の代わりに、ソレノイド駆動回路と、このソレノイド駆動回路によって駆動されるソレノイドをマイクロコンピュータ27に接続して、磁氣的な作用によりアダプター部21に設けた可動部を動作させ、或いはアダプター部21の一部又は全部を変形させるように構成してもよい。

更に、マイクロコンピュータ27は、電波発信回路48を介してアンテナ49と接続されている。

【0014】

第2の電子機器装置本体であるアダプター部21は、ポケットベル部1から転送されたメッセージを受信する受信手段を有する。すなわち、インターフェイス

回路 23 とマイクロコンピュータ 27 とで、上記メッセージを受信する受信手段を構成する。

また、アダプター部 21 は、前記メッセージを受信した時に、第 1 の態様とは異なる第 2 の態様で報知する第 2 の報知手段を有する。すなわち、音声発生回路 33 及びスピーカ 35 は、メッセージの受信を音声により報知するものであり、発光駆動回路 37 及び光表示部 39 は、メッセージの受信を光により報知するものであり、液晶駆動回路 41 及び液晶表示器 43 は、メッセージの受信を文字表示により報知するものであり、モータ駆動回路 45 及びモータ 47 は、メッセージの受信を動的に報知するものであり、電波発信回路 48 及びアンテナ 49 は、メッセージの受信を電磁波により報知するものである。

【0015】

図 4 及び図 5 に示すように、ポケットベル部 51 は、アンテナ 53 と受信回路 55 を有し、基地局からのメッセージを受信する。受信回路 55 は、マイクロコンピュータ 57 と接続され、受信したメッセージはマイクロコンピュータ 57 に取り込まれる。マイクロコンピュータ 57 はメモリ 57a を有し、メモリ 57a は EEPROM、S-RAM 等の適宜の記憶手段によって構成され、自己の ID 情報及びアダプター部 21、71 の ID 情報などが記録されている。

マイクロコンピュータ 57 は、外部入力回路 56 と接続されると共に、インターフェイス回路 59 と接続されている。外部入力回路 56 は、複数の押しボタンスイッチ等を有し、外部入力回路 56 を介してスイッチ操作に係る入力信号をマイクロコンピュータ 57 へ取り込むことができる。また、マイクロコンピュータ 57 は、インターフェイス回路 59 を介してアダプター部 71 と電氣的に接続される。

また、マイクロコンピュータ 57 は、着信音発生回路 61 を介してスピーカ 63 及びバイブレータ 64 と接続されている。マイクロコンピュータ 57 は、液晶表示パターンメモリ 65 を介して液晶表示器 67 と接続されている。さらに、マイクロコンピュータ 57 は、データ蓄積用メモリ 69 と接続されている。

ポケットベル部 51 は、基地局からのメッセージを受信した時に、第 1 の態様で報知する第 1 の報知手段を有する。この第 1 の報知手段として液晶表示器 67

が設けられ、メッセージの受信を文字表示によって報知する。また、マイクロコンピュータ57とインターフェイス回路59とで、受信したメッセージをアダプター部71へ転送するための転送手段を構成する。

【0016】

次に、図4および図5を参照してアダプター部71を説明する。アダプター部71は、マイクロコンピュータ77を有する。マイクロコンピュータ77は、ROM77a, RAM77bを有する。ROM77aには、自己のID情報及びポケットベル部1, 51のID情報などが記録されている。RAM77bは、ワーク用のメモリであり、各種データが一時的に記憶される。また、マイクロコンピュータ77は、セレクター77cを有し、セレクター77cによってメッセージ情報「#001」、「#002」、「#003」が振り分けられる。

マイクロコンピュータ77は、インターフェイス回路73と接続され、このインターフェイス回路73を介してポケットベル部51と電氣的に接続される。また、マイクロコンピュータ77は、外部入力回路75と接続されている。この外部入力回路75は、複数の押しボタンスイッチ、又は光センサーや磁気センサー等を有し、外部からの入力信号を取り込むことができる。

【0017】

また、マイクロコンピュータ77は、表示データ用ROM79、受信データ蓄積用メモリ81と接続されている。表示データ用ROM79には、各種コード情報と、それぞれのコード情報と対応するメッセージが記録されている。

そして、マイクロコンピュータ77は、音声発生回路83を介してスピーカ85と接続されると共に、発光駆動回路87を介してLED、ランプ等で構成される光表示部89と接続されている。

また、マイクロコンピュータ77は、液晶駆動回路91を介して液晶表示器93と接続されると共に、モータ駆動回路95を介してモータ97と接続されている。このモータ97を駆動することにより、アダプター部71に設けた可動部（図示せず）が動作し、或いはアダプター部71の一部又は全部が変形するものである。もちろん、モータ駆動回路95及びモータ97の代わりに、ソレノイド駆動回路と、このソレノイド駆動回路によって駆動されるソレノイドをマイクロコ

ンピュータ77に接続して、磁気的な作用によりアダプター部71に設けた可動部を動作させ、或いはアダプター部71の一部又は全部を変形させるように構成してもよい。

更に、マイクロコンピュータ77は、電波発信回路98を介してアンテナ99と接続されている。また、マイクロコンピュータ77は、外部メモリインターフェイス92を介して外部メモリ94と接続されている。この外部メモリ94は、例えば、EEPROM、S-RAM等の適宜の記憶部から構成され、アダプター部71に着脱自在に設けられる。また、外部メモリ94には、音声データ、画像ビップマップデータ及び着信報知に関するプログラムやゲームプログラムが記録されている。マイクロコンピュータ77は、外部メモリ94に記録されたプログラムデータに基づいて着信報知に関する制御処理を実行する。この外部メモリを差し替えることにより、アダプター部71の機能アップを図ることができる。

【0018】

第2の電子機器装置本体であるアダプター部71は、ポケットベル部51から転送されたメッセージを受信する受信手段を有する。すなわち、インターフェイス回路73とマイクロコンピュータ77とで、上記メッセージを受信する受信手段を構成する。

また、アダプター部71は、前記メッセージを受信した時に、第1の態様とは異なる第2の態様で報知する第2の報知手段を有する。すなわち、音声発生回路83及びスピーカ85は、メッセージの受信を音声により報知するものであり、発光駆動回路87及び光表示部89は、メッセージの受信を光により報知するものであり、液晶駆動回路91及び液晶表示器93は、メッセージの受信を文字表示により報知するものであり、モータ駆動回路95及びモータ97は、メッセージの受信を動的に報知するものであり、電波発信回路98及びアンテナ99は、メッセージの受信を電磁波により報知するものである。

【0019】

次に、請求項2に係る発明を説明する。アダプター部21、71は、ゲームに係るプログラムを記憶した記憶手段を有する。すなわち、マイクロコンピュータ27、77は、それぞれROM27a、77aを有し、占いゲーム、競技ゲーム

等の各種プログラムが記録されている。例えば、ROM 27a には、低年齢の児童を対象としたゲームプログラムが記憶され、ROM 77a には、生徒や学生を対象としたゲームプログラムが記憶されている。これらのゲームプログラムは、受信したメッセージ又はそれまでに蓄積されたメッセージに応じてゲーム展開又は占い結果に影響を与えるように形成してもよい。

また、入力回路 25, 75 は、ゲームに係る命令を入力するための入力手段である。

そして、マイクロコンピュータ 27, 77 は、それぞれ入力手段から入力された命令に従って該当するプログラムを記憶手段から読み取る読取手段と、この読み取られたプログラムに従ってゲームを実行する実行手段を有する。

以上の如く、請求項 2 に係る発明は、入力手段から入力された命令に従って該当するプログラムを記憶手段から読み取ってゲームを実行するように構成したので、アダプター 21 及び 71 は、ポケット部を接続していない状態でも、単独でゲームを行うことができる。

【0020】

次に、請求項 3 に係る発明を説明する。ポケットベル部 1, 51 は、受信したメッセージを文字表示する第 1 の表示手段として液晶表示器 17, 67 を有する。

従って、ポケットベル部 1 又は 51 のみを携帯した場合であっても、ポケットベル部 1 又は 51 は、それぞれ単独で基地局からのメッセージを受信して、そのメッセージを文字表示することができる。

【0021】

次に、請求項 4 に係る発明を説明する。第 2 の報知手段は、メッセージを受信したことを動作により報知する動作報知手段を有する。すなわち、マイクロコンピュータ 27 は、モータ駆動回路 45 を介してモータ 47 と接続されている。このモータ 47 を駆動することにより、アダプター部 21 に設けた可動部（図示せず）が動作し、或いはアダプター部 21 の一部又は全部が変形するものである。もちろん、モータ駆動回路 45 及びモータ 47 の代わりに、ソレノイド駆動回路と、このソレノイド駆動回路によって駆動されるソレノイドをマイクロコンピュ

ータ27に接続して、磁気的な作用によりアダプター部21に設けた可動部を動作させ、或いはアダプター部21の一部又は全部を変形させるように構成してもよい。

同様に、マイクロコンピュータ77は、モータ駆動回路95を介してモータ97と接続されている。このモータ97を駆動することにより、アダプター部71に設けた可動部（図示せず）が動作し、或いはアダプター部71の一部又は全部が変形するものである。もちろん、モータ駆動回路95及びモータ97の代わりに、ソレノイド駆動回路と、このソレノイド駆動回路によって駆動されるソレノイドをマイクロコンピュータ77に接続して、磁気的な作用によりアダプター部71に設けた可動部を動作させ、或いはアダプター部71の一部又は全部を変形させるように構成してもよい。

【0022】

次に、請求項5に係る発明を説明する。

アダプター21及び71のそれぞれは、メッセージを受信したことを音声により報知する音声報知手段として音声発生回路33，83及びスピーカ35，85を有する。また、アダプター21及び71のそれぞれは、メッセージを受信したことを光により報知する光報知手段として、発光駆動回路37，87及び光表示部39，89を有する。また、アダプター21及び71のそれぞれは、メッセージを受信したことを動作により報知する動作報知手段として、モータ駆動回路45，95及びモータ47，97を有する。

【0023】

次に、作用を説明する。

まず、図2を参照してポケットベル部1単体の作用を説明する。このポケットベル部1のみを携帯することができ、基地局から送信されるメッセージをアンテナ3を介して受信回路5で受信する。マイクロコンピュータ7は、この受信されたメッセージ、例えば、コードデータで成るメッセージの内容を解読する。そして、マイクロコンピュータ7は、アダプター部21と接続されていないことを判断して、上記解読したメッセージの内容を液晶表示パターンメモリ15に記録し、液晶表示器17に表示させる。

また、マイクロコンピュータ 7 は、着信音発生回路 11 を介してスピーカ 13 を鳴動させ、メッセージの着信を報知する。

ポケットベル部 1 を携帯する者は、スピーカ 13 の鳴動によってメッセージの着信を知ることができ、液晶表示器 17 に表示されたメッセージを読み取ることができる。

尚、図 4, 5 に示すポケットベル部 51 の作用も上記と同様であり、詳細な説明を省略する。

【0024】

次に、図 3 を参照してアダプター部 21 単体の作用を説明する。

アダプター部 21 を所有する者は、アダプター部 21 のみを携帯して郊外で占いゲームや競争ゲームなどの各種ゲームを楽しむことができる。すなわち、マイクロコンピュータ 27 は ROM 27a を有し、この ROM 27a には占いゲーム、競技ゲーム等の各種プログラムが記録されている。

アダプター部 21 を所有する者が、入力回路 25 の操作部を操作してゲームに係る命令を入力すると、マイクロコンピュータ 27 は、入力回路 25 から入力された命令に従って該当するプログラムを ROM 27a から読み取り、この読み取ったプログラムに従ってゲームを展開する。

尚、図 4, 5 に示すアダプター部 71 の作用も上記と同様であり、詳細な説明を省略する。

【0025】

次に、図 1 を参照して、ポケットベル部 1 を接続装置 53 を介してアダプター部 21 と接続した場合の作用を説明する。

基地局からのメッセージをアンテナ 3 を介して受信回路 5 で受信すると、マイクロコンピュータ 7 がこの受信されたメッセージ、例えば、コードデータで成るメッセージの内容を解読する。そして、マイクロコンピュータ 7 は、インターフェイス回路 9、接続装置 53 を介して確認信号、例えば、ポケットベル部 1 の固有の ID 情報等をアダプター部 21 へ送信する。

アダプター部 21 は、インターフェイス回路 23 を介して確認信号を受信すると、マイクロコンピュータ 27 は上記確認信号が真正なものであるか否かを判断

する。ここで、マイクロコンピュータ 27 は、例えば、上記ポケットベル部 1 の ID 情報が予め登録した ID 情報と一致するか否かを判定し、一致する場合は真正なものであると判断する。

マイクロコンピュータ 27 は、上記ポケットベル部 1 の ID 情報が真正なものであると判断した場合は、インターフェイス回路 23、接続装置 53 を介して確認信号、例えば、アダプター部 21 の固有の ID 情報等をポケットベル部 1 へ送信する。

ポケットベル部 1 は、インターフェイス回路 9 を介してアダプター部 21 から確認信号を受信すると、マイクロコンピュータ 7 はこの確認信号が真正なものであるか否かを判断する。ポケットベル部 1 は、前述したと同様に、例えばアダプター部 21 の ID 情報が予め登録した ID 情報と一致するか否かを判定し、一致する場合は真正なものであると判断する。

【0026】

ポケットベル部 1 は、アダプター部 21 の ID 情報が真正なものであると判断した場合は、基地局から受信したメッセージ情報をインターフェイス回路 9、接続装置 53 を介してアダプター部 21 へ送信する。

アダプター部 21 では、マイクロコンピュータ 27 が上記メッセージ情報を受信すると、このメッセージ情報に含まれるコード情報と対応する文字データを表示データ用 ROM 29 から読み取って、キャラクタ画像や絵等の背景画像と共に液晶表示器 43 に表示させる。そして、マイクロコンピュータ 27 は、このメッセージデータを受信した日付と共に受信データ蓄積用メモリ 31 に記録する。また同時に、マイクロコンピュータ 27 は、音声発生回路 33 を介してスピーカ 35 を鳴動させると共に、発光駆動回路 37 を介して光表示部 39 を点灯させてメッセージ情報の受信を報知する。また、マイクロコンピュータ 27 は、モータ駆動回路 45 を介してモータ 47 を回転させることにより、アダプター部 21 に設けた可動部が動作し、或いはアダプター部 21 の形状の一部又は全部が変形する。更に、マイクロコンピュータ 27 は、電波発信回路 48 を駆動しアンテナ 49 からメッセージ情報を電磁波により、図示しない受信装置へ送信する。

【0027】

次に、図4を参照してポケットベル部51が単体で基地局からのメッセージ情報を受信し、その後に、ポケットベル部51をアダプター部71に接続した場合の作用を説明する。

まず、ポケットベル部51は、基地局から「#001」、「#002」、「#003」から成るメッセージ情報を受信する。メッセージ情報「#001」は、例えば、ポケットベル部51の番号であり、メッセージ情報「#002」は、例えば、メッセージに関する情報であり、メッセージ情報「#003」は、例えば、発信者に関する情報である。

ポケットベル部51では、マイクロコンピュータ57が着信音発生回路61を介してスピーカ63及びバイブレータ64を駆動すると共に、受信したメッセージ情報をデータ蓄積用メモリ69に記録する。

【0028】

その後、ポケットベル部51をアダプター部71に接続すると、前述のごとく、ポケットベル部51とアダプター部71とのあいだで確認作業を行った後に、メッセージ情報をポケットベル部51からアダプター部71へ転送する。

マイクロコンピュータ77がポケットベル部51からのメッセージ情報を受信し、音声発生回路83を介してスピーカ85を駆動して適宜のキャラクターの音声で、例えば「さっきメッセージが来たよ」の音声を出力すると同時に、発光駆動回路87を介して光表示部89を駆動する。また、マイクロコンピュータ77は、液晶駆動回路91を介して液晶表示器93にメッセージが到着したことを知らせるアニメーション画像を表示する。また、マイクロコンピュータ77は、モータ駆動回路95を介してモータ97を駆動することにより、アダプター部71に設けた可動部を動作させ、或いはアダプター部71の一部又は全部を変形させる。

更に、マイクロコンピュータ77は、電波発信回路98を介してアンテナ99からメッセージが到着した旨の情報を送信する。

【0029】

次に、アダプター部71の所有者が、外部入力回路75を操作してメッセージの表示を指示すると、マイクロコンピュータ77はポケットベル部51からのメ

ッセージ情報を解読すると共に、音声発生回路 83 を介してスピーカ 85 を駆動して適宜のキャラクターの音声で、例えば「おっはよう」の音声を出力すると同時に、発光駆動回路 87 を介して光表示部 89 を点滅させる。また、マイクロコンピュータ 77 は、液晶駆動回路 91 を介して液晶表示器 93 にメッセージを文字表示する。また、マイクロコンピュータ 77 は、モータ駆動回路 95 を介してモータ 97 を駆動することにより、アダプター部 71 に設けた可動部を動作させ、或いはアダプター部 71 の一部又は全部を変形させる。

更に、マイクロコンピュータ 77 は、電波発信回路 98 を介してアンテナ 99 からメッセージ情報を送信する。

【0030】

次に、図 5 を参照してポケットベル部 51 をアダプター部 71 に装着した状態で、基地局からのメッセージ情報を受信した場合の作用を説明する。

まず、ポケットベル部 51 は、基地局から「#001」、「#002」、「#003」から成るメッセージ情報を受信する。メッセージ情報「#001」は、例えば、ポケットベル部 51 の番号であり、メッセージ情報「#002」は、例えば、メッセージに関する情報であり、メッセージ情報「#003」は、例えば、発信者に関する情報である。

ポケットベル部 51 では、マイクロコンピュータ 57 が着信音発生回路 61 を介してスピーカ 63 及びバイブレータ 64 を駆動すると共に、受信したメッセージ情報をデータ蓄積用メモリ 69 に記録する。また、ポケットベル部 51 は、前述の ID 情報の確認処理を行った後に、受信したメッセージ情報をアダプター部 71 へ転送する。

【0031】

アダプター部 71 では、マイクロコンピュータ 77 がポケットベル部 51 からのメッセージ情報を受信すると、外部メモリ 94 から読み取ったプログラムに基づいて制御処理を実行する。すなわち、マイクロコンピュータ 77 は、音声発生回路 83 を介してスピーカ 85 を駆動し、例えば「メッセージが届いたよ」の音声を出力すると同時に、発光駆動回路 87 を介して光表示部 89 を駆動する。また、マイクロコンピュータ 77 は、液晶駆動回路 91 を介して液晶表示器 93 に

メッセージが到着したことを知らせるアニメーション画像を表示する。また、マイクロコンピュータ 77 は、モータ駆動回路 95 を介してモータ 97 を駆動することにより、アダプター部 71 に設けた可動部を動作させ、或いはアダプター部 71 の一部又は全部を変形させる。

更に、マイクロコンピュータ 77 は、電波発信回路 98 を介してアンテナ 99 からメッセージが到着した旨の情報を送信する。

【0032】

次に、アダプター部 71 の所有者が、外部入力回路 75 を操作してメッセージの表示を指示すると、マイクロコンピュータ 77 はポケットベル部 51 からのメッセージ情報を解読する。また、マイクロコンピュータ 77 は、音声発生回路 83 を介してスピーカ 85 を駆動し、例えば適宜の BGM を出力する。そして、マイクロコンピュータ 77 は、液晶駆動回路 91 を介して液晶表示器 93 にメッセージを文字表示すると共に、発光駆動回路 87 を介して光表示部 89 を点滅させる。

そして、マイクロコンピュータ 77 は、上記メッセージ情報や外部メモリ 94 から読み取ったビットマップデータをポケットベル部 51 へ送信する。これにより、ポケットベル部 51 では、マイクロコンピュータ 57 が液晶表示パターンメモリ 65 を介して液晶表示器 67 にメッセージを文字表示すると共に、データ蓄積用メモリ 69 にメッセージを記録する。

【0033】

【発明の効果】

以上説明してきたように請求項 1 に係る発明は、基地局からのメッセージを受信する第 1 の電子機器装置本体と、第 1 の電子機器装置本体を着脱自在に装着する第 2 の電子機器装置本体を有する。第 1 の電子機器装置本体はメッセージを受信した時に、第 1 の態様で報知する第 1 の報知手段と、受信したメッセージを第 2 の電子機器装置本体へ転送する転送手段を有する。そして、第 2 の電子機器装置本体は転送されたメッセージを受信する受信手段と、メッセージを受信した時に、第 1 の態様とは異なる第 2 の態様で報知する第 2 の報知手段を有して構成したので、基地局から送信された情報を受信して単に表示するだけにとどまらず、

他の機能を附加することができ、低年齢の児童に対しては、更に興趣性の高い電子機器装置を提供し、また、子供が成長するに応じて、より高い機能を附加することのできる電子機器装置を実現することができるという効果を有する。

【0034】

また、請求項2に係る発明は、第2の電子機器装置本体は、ゲームに係るプログラムを記憶した記憶手段と、ゲームに係る命令を入力する入力手段と、入力手段から入力された命令に従って該当するプログラムを記憶手段から読み取る読取手段と、読み取られたプログラムに従ってゲームを実行する実行手段を有して構成したので、第2の電子機器装置本体のみを操作して各種ゲームを楽しむことができるという効果を有する。

【0035】

また、請求項3に係る発明は、第1の報知手段は少なくとも受信したメッセージを文字表示する第1の表示手段を有して構成したので、第1の電子機器装置本体のみを携帯することにより、基地局からのメッセージを受信して表示することができ、用途に合わせて組み合わせを変えたり、又は第1の電子機器装置本体のみを単体で用いることができ、汎用性に富む電子機器装置を実現することができるという効果を有する。

【0036】

また、請求項4に係る発明は、第2の報知手段はメッセージを受信したことを動作により報知する動作報知手段を有して構成したので、低年齢の児童の好みに応じて更に興趣性の高い電子機器装置を提供することができるという効果を有する。

【0037】

また、請求項5に係る発明は、第2の報知手段は、メッセージを受信したことを音声により報知する音声報知手段と、メッセージを受信したことを光により報知する光報知手段と、メッセージを受信したことを動作により報知する動作報知手段を有して構成したので、第1の電子機器装置本体を第2の電子機器装置本体に装着することにより、機能アップを図ることができるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明に係る電子機器装置のブロック図である。

【図 2】

本発明に係るポケットベル部のブロック図である。

【図 3】

本発明に係るアダプター部のブロック図である。

【図 4】

本発明に係る電子機器装置の他の実施態様を示したブロック図である。

【図 5】

本発明に係る電子機器装置のその他の実施態様を示したブロック図である。

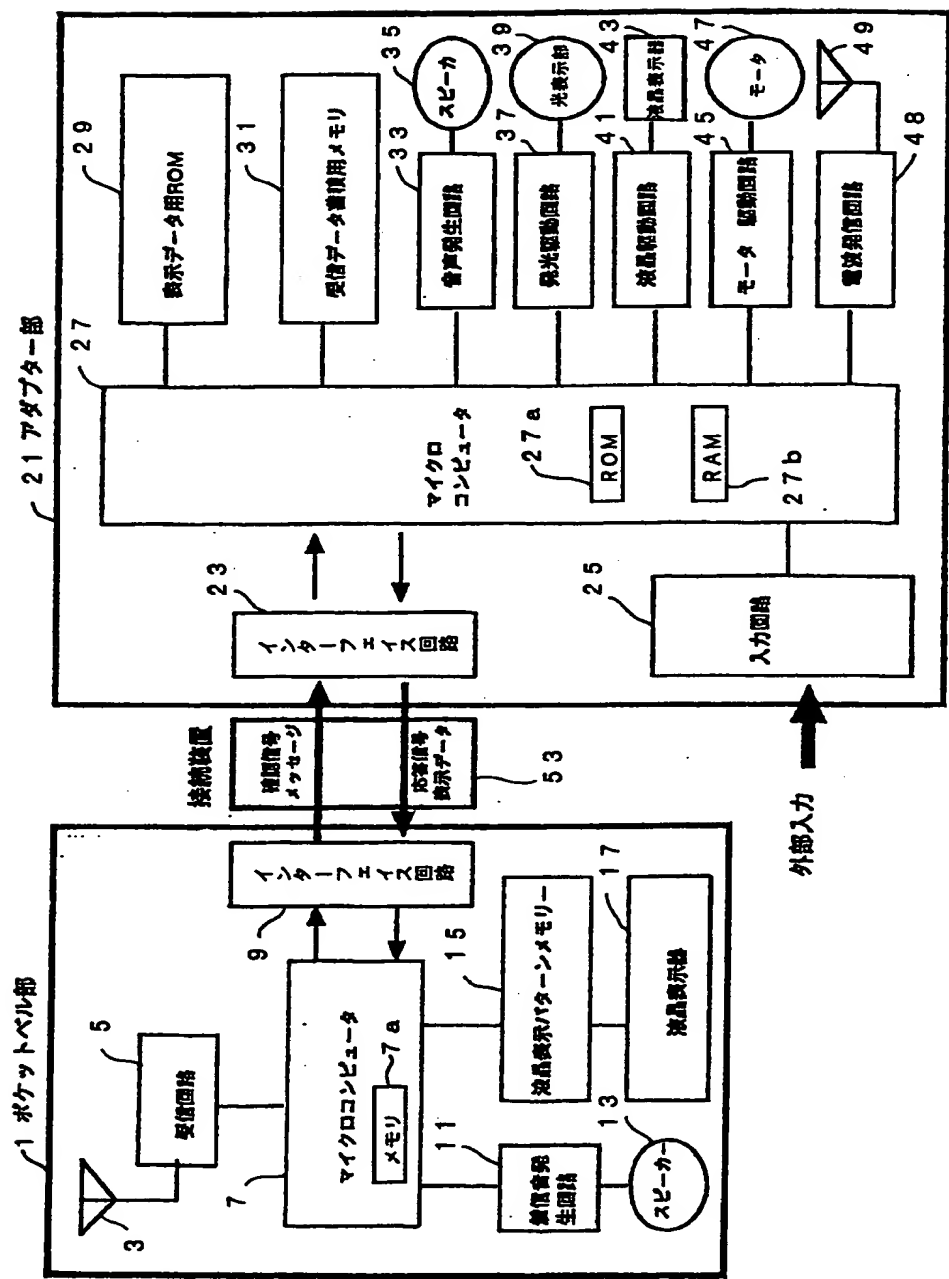
【符号の説明】

- 1 ポケットベル部
- 3 アンテナ
- 5 受信回路
- 7 マイクロコンピュータ
- 9 インターフェイス回路
- 11 着信音発生回路
- 13 スピーカ
- 15 液晶表示パターンメモリ
- 17 液晶表示器
- 21 アダプター部
- 23 インターフェイス回路
- 25 入力回路
- 27 マイクロコンピュータ
- 29 表示データ用メモリ
- 31 受信データ蓄積用メモリ
- 33 音声発生回路
- 35 スピーカ
- 37 発光駆動回路

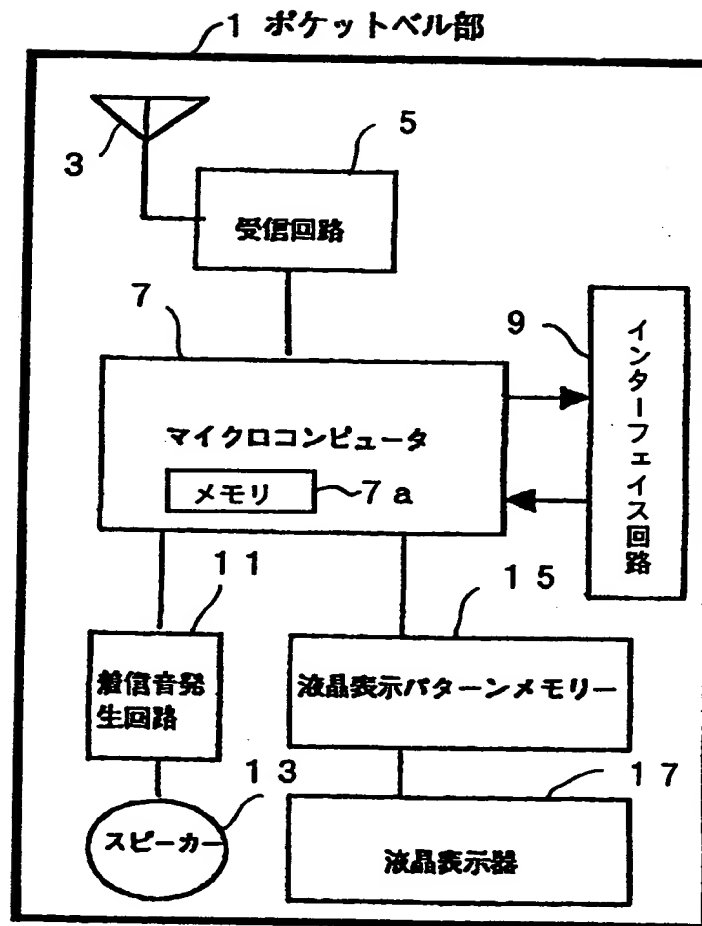
- 3 9 光表示部
- 4 1 液晶駆動回路
- 4 3 液晶表示器
- 4 5 モータ駆動回路
- 4 7 モータ
- 4 8 電波発信回路
- 4 9 アンテナ

【書類名】 図面

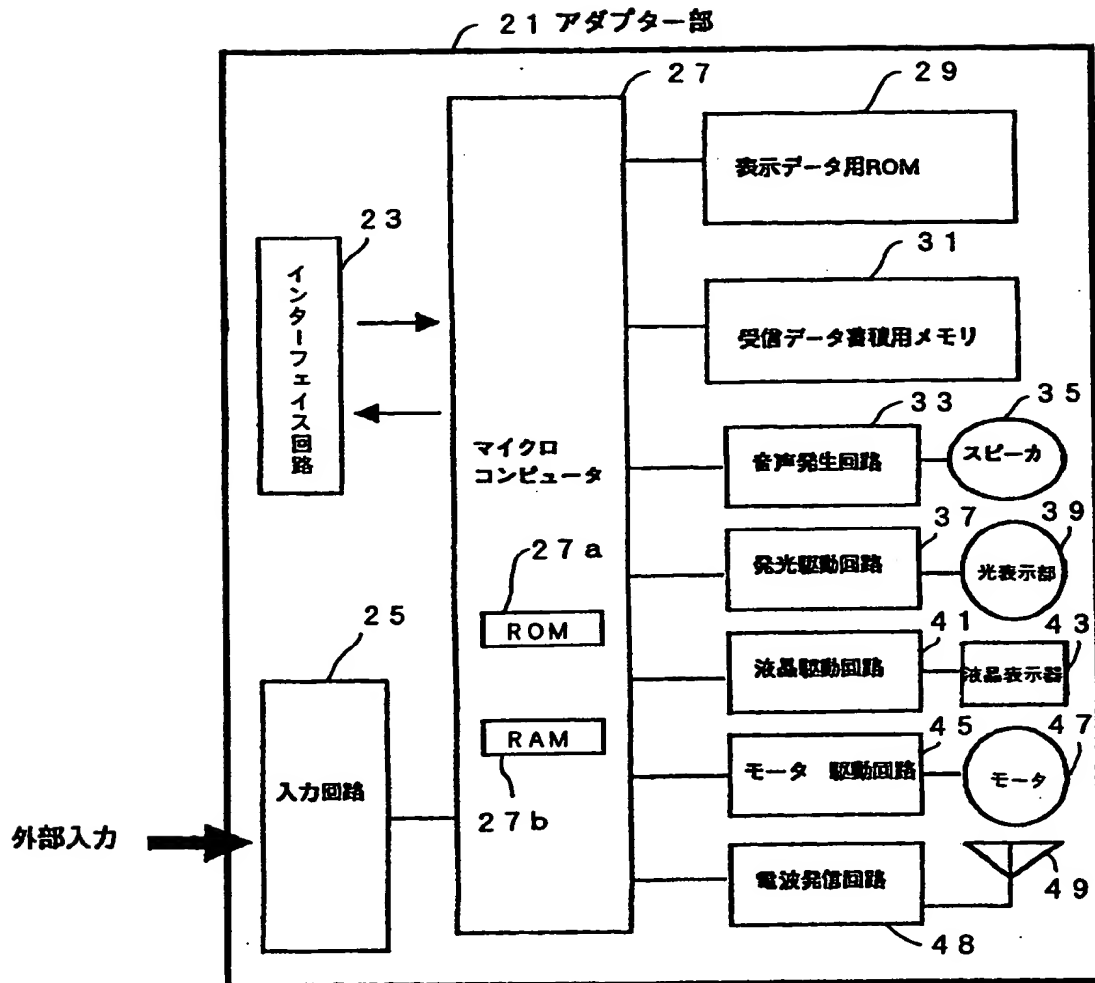
【図 1】



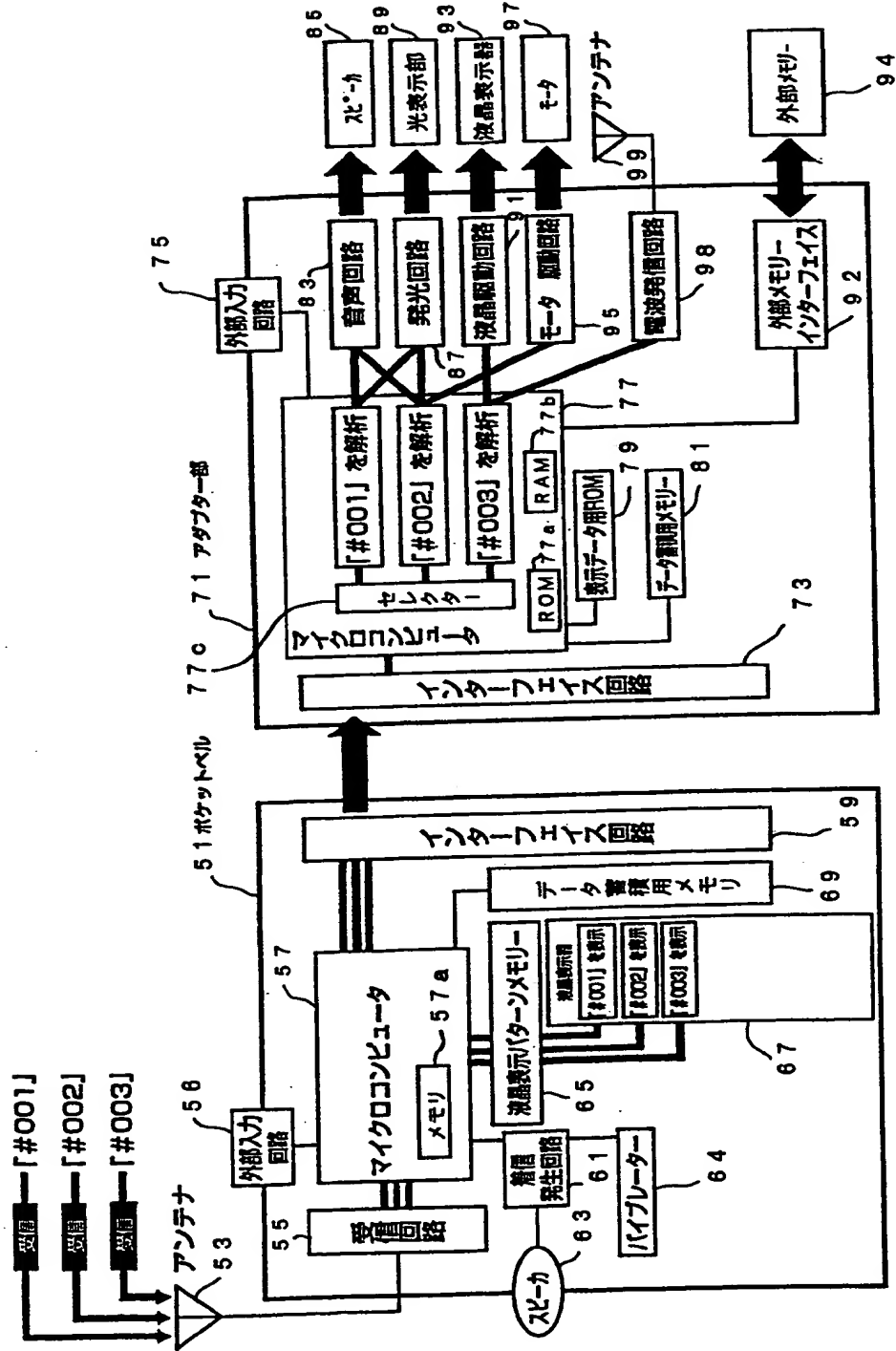
【図2】



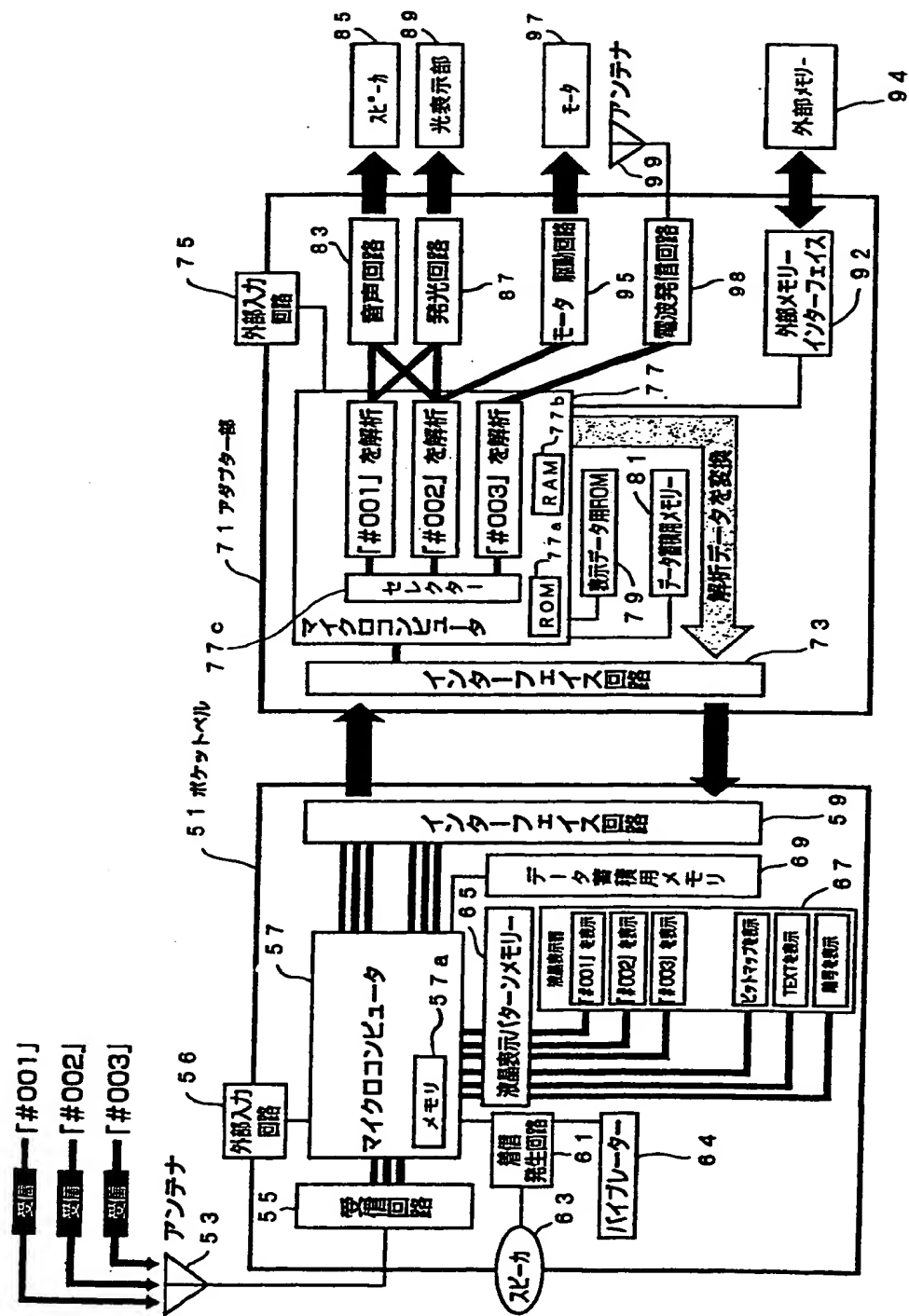
【図3】



【図4】



【図 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 基地局から送信された情報を受信して単に表示するだけにとどまらず、他の機能を附加することにより、低年齢の児童に対しては、更に興趣性の高い電子機器装置を提供し、また、子供が成長するに応じて、より高い機能を附加することのできる電子機器装置を実現することを目的とする。

【解決手段】 基地局からのメッセージを受信するポケットベル部1, 51と、ポケットベル部1, 51を着脱自在に装着するアダプター部21, 71を有し、ポケットベル部1, 51は、メッセージを受信した時に第1の態様で報知する第1の報知手段（液晶表示器17）と、受信したメッセージをアダプター部21, 71へ転送する転送手段（インターフェイス回路9, マイクロコンピュータ7）を有し、アダプター部21, 71は転送されたメッセージを受信する受信手段（インターフェイス回路23, マイクロコンピュータ27）と、メッセージを受信した時に、第1の態様とは異なる第2の態様で報知する第2の報知手段（スピーカ35、発光駆動回路37、光表示部39、液晶表示器43、モータ駆動回路45、モータ47）を有して構成される。

【選択図】 図1

【書類名】

職権訂正データ

【訂正書類】

特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】

000135748

【住所又は居所】

東京都台東区駒形2丁目5番4号

【氏名又は名称】

株式会社バンダイ

【代理人】

申請人

【識別番号】

100081363

【住所又は居所】

東京都台東区駒形2丁目7番5号 前川ビル7階

【氏名又は名称】

高田 修治

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000135748]

1. 変更年月日 1990年 8月 9日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都台東区駒形2丁目5番4号
氏 名 株式会社バンダイ